

2009年12月現在 第三期岩崎式日本語		
1、第三期岩崎式日本語と各精神疾患(2009年12月現在。全て日本人)		
第三期岩崎式日本語を理解できた人の有する精神疾患		
<p>言語に何らかの支障がある人のうち、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●重度の解離を慢性的に引き起こしている女性 ●DSM-IV-TRに規定される全ての解離性障害者(解離性健忘、解離性遁走、解離性同一性障害、離人症性障害、解離性昏迷、トランス、憑依障害) ●性的虐待で重度の解離・離人を引き起こした一部の女性 ●その他の解離症状(解離性失声、解離性知覚麻痺) ●初期の統合失調症 ●アスペルガー症候群 ●一部の旧神経症(パニック障害、強迫神経症、対人恐怖症、単一恐怖、広場恐怖、社会恐怖)のうち、解離を伴う場合 ●カブグラ症候群 ●フレゴリ妄想 ●コタール症候群 		
第三期岩崎式日本語が効かない(または未確認の場合)		
<ul style="list-style-type: none"> ●あらゆる言語活動が困難な人(重度の知的障害) ●一部の統合失調症 ●重度の自閉症 ●ブローカ野失語・ウェルニッケ野失語 		
第三期岩崎式日本語を必要としない場合		
<ul style="list-style-type: none"> ●現代日本語を話すのに障害がない人の全て ●言語に支障が出ない精神疾患の全て(以下に例) ●境界性パーソナリティ障害 ●解離を伴わない旧神経症 ●PTSD ●鬱病 ●一般の共感者 		
2、第三期岩崎式日本語燈詞の種類 (文頭に置いて特定の自我領域を宣言する。)		
我 燈	キウ(私)、ラグ(私、我、余、吾、僕、我輩、自分)	私・僕の自我領域。自然界から抜け出たと自覚される我の特定領域。自然界に埋没しなくなった自己意識の範疇。「キウ」は、主に丁寧語、女性語。
	ナトゥラ(其方、貴方、貴女)、トル(君)、コル(君女)	あなた・君(お前・坊や:男)、君(娘さん:女)の自我領域。自然界から抜け出たと自覚される我の特定領域を認識する他我。自然界に埋没しなくなった他己意識の範疇。
	カウラ・カウノレワ	彼・彼女・彼ら・彼女らの自我領域。自然界から抜け出たと自覚される我の特定領域を認識する第三者の男我、女我。自然界に埋没しなくなった第三者の男己、女己意識の範疇。
	タ	複数の自己意識の集合。キウタ、ラグタ、ナトゥラタ、トルタ、コルタ、カウラタ、カウノレータを形成する。

男我燈	ヲ・オ			男性の自我に付す。	
	カラトウ・ホラトウ			一部の共感覚者・解離性障害者の自我に付す。	
神仏燈	コザ、イエザ、ヲザ、ドウザ(此ザ、其ザ、彼ザ、何ザ)			自己意識が認識する遠近。これ、それ、あれ、どれ。解離において、「こそあど」と区別。	
	コゾ、イエゾ、ヲゾ、ドウゾ(此ゾ、其ゾ、彼ゾ、何ゾ)			自己意識が認識する遠近。この、その、あの、どの。解離において、「こそあど」と区別。	
時空燈	2009/5時点	2009/8時点	2009/12時点		備考
3、第三期岩崎式日本語動詞活用表(発音はほぼ2009/12時点のようになっているが、表記は2009/8時点のものが望ましい。)					
動詞活用	書か	書か	書か	未然常観言。	
	書かん	書かう	書く	未然心描言。未だ然らざる事態にとどまる心情。	
	書かい	書かい	書き	未然抽化言未然。未だ然らざる事態への努力の未だ然らざる心情。	
	書かい	書かお	書こ	未然抽化言已然。未だ然らざる事態への努力の已に然る心情。	
	書かあ	書かあ	書か一	未然抽出言未然。未だ然らざる事態への甚大な努力の未だ然らざる心情。	
	書かあ	書かえ	書け	未然抽出言已然。未だ然らざる事態への甚大な努力の已に然る心情。	
	書き	書き	書き	連用常観言。	
	書きん	書きう	書く、書きゆ	連用心描言。用言に連なる事態にとどまる心情。	
	書きい	書きい	書き一	連用抽化言未然。用言に連なる事態への努力の未だ然らざる心情。	
	書きい	書きお	書こ、書きよ	連用抽化言已然。用言に連なる事態への努力の已に然る心情。	
	書きあ	書きあ	書か、書きゃ	連用抽出言未然。用言に連なる事態への甚大な努力の未だ然らざる心情。	
	書きあ	書きえ	書け	連用抽出言已然。用言に連なる事態への甚大な努力の已に然る心情。	
	書く	書く	書く	終止常観言。	
	書くん	書くう	書く一	終止心描言。終止する事態にとどまる心情。	
	書くい	書くい	書き	終止抽化言未然。終止する事態への努力の未だ然らざる心情。	
	書くい	書くお	書こ	終止抽化言已然。終止する事態への努力の已に然る心情。	
	書くあ	書くあ	書か	終止抽出言未然。終止する事態への甚大な努力の未だ然らざる心情。	
	書くあ	書くえ	書け	終止抽出言已然。終止する事態への甚大な努力の已に然る心情。	
	書く	書く	書く	連体常観言。	
	書くん	書くう	書く一	連体心描言。体言に連なる事態にとどまる心情。	
	書くい	書くい	書き	連体抽化言未然。体言に連なる事態への努力の未だ然らざる心情。	
	書くい	書くお	書こ	連体抽化言已然。体言に連なる事態への努力の已に然る心情。	
	書くあ	書くあ	書か	連体抽出言未然。体言に連なる事態への甚大な努力の未だ然らざる心情。	
	書くあ	書くえ	書け	連体抽出言已然。体言に連なる事態への甚大な努力の已に然る心情。	
	書け	書け	書け	已然常観言。	
	書けん	書けう	書く、書きゆ	已然心描言。已に然る事態にとどまる心情。	

	書けい	書けい	書き	已然抽化言未然。已に然る事態への努力の未だ然らざる心情。	
	書けい	書けお	書こ、書きよ	已然抽化言已然。已に然る事態への努力の已に然る心情。	
	書けあ	書けあ	書か、書きゃ	已然抽出言未然。已に然る事態への甚大な努力の未だ然らざる心情。	
	書けあ	書けえ	書け一	已然抽出言已然。已に然る事態への甚大な努力の已に然る心情。	
	書け	書け	書け	命令常観言。	
	書けん	書けう	書く、書きゆ	命令心描言。命令する事態にとどまる心情。	
	書けい	書けい	書き	命令抽化言未然。命令する事態への努力の未だ然らざる心情。	
	書けい	書けお	書こ、書きよ	命令抽化言已然。命令する事態への努力の已に然る心情。	
	書けあ	書けあ	書か、書きゃ	命令抽出言未然。命令する事態への甚大な努力の未だ然らざる心情。	
	書けあ	書けえ	書け一	命令抽出言已然。命令する事態への甚大な努力の已に然る心情。	
4、第三期岩崎式日本語燈詞變化表					
真我	通観言	通観言	通観言	心描・抽化・抽出の三言を形成。	
	心描言	心描言	心描言	該当の自我に埋没してとどまる自我。	
	抽化言	抽化言未然	抽化言未然	該当の自我を脱出せんと苦心する自我。遠く主我を志向。	
		抽化言已然	抽化言已然	該当の自我を脱出せんと苦心した自我。遠く主我を志向。	
抽出言	抽出言未然	抽出言未然	該当の自我を脱出せんと甚大に苦心する自我。主我を志向。動詞において「コト」「モノ」を形成。		
	抽出言已然	抽出言已然	該当の自我を脱出せんと甚大に苦心した自我。主我を志向。動詞において「コト」「モノ」を形成。		
空前我	キウ	キウ	キウ	自己同一性を一切欠いた自我。	時空同一。識具間我まで法性は主に動詞・言に内包
	キウン	キヌウ	ウ	自己同一性を一切欠き、それにとどまる自我。	
	キウイ	キヌイ	キ	自己同一性を一切欠き、再獲得せんと努力する自我。	
		キヌオ	ヲ	自己同一性を一切欠き、再獲得せんと努力した自我。	
	キウア	キヌア	ワ	自己同一性を一切欠き、再獲得せんと甚大に努力する自我。	
		キヌエ	エ	自己同一性を一切欠き、再獲得せんと甚大に努力した自我。	
空我	キウ	キウンファ	キウムファ	自己同一性を一切欠かんとする境界にある自我。	
	キウン	キンファウ	キムフ	自己同一性を一切欠かんとする境界にあってとどまる自我。	
	キウイ	キンファイ	キムフィ	自己同一性を一切欠かんとする境界にあって逃れんと努力する自我。	
		キンファオ	キムフォ	自己同一性を一切欠かんとする境界にあって逃れんと努力した自我。	
	キウア	キンファア	キムファ	自己同一性を一切欠かんとする境界にあって逃れんと甚大に努力する自我。	
キンファエ		キムフェ	自己同一性を一切欠かんとする境界にあって逃れんと甚大に努力した自我。		
空識間我	キウ	キウーファ	キウーファ	空我と識我の間にある自我。	
	キウン	キーファウ	キーフ	空我と識我の間にとどまる自我。	
	キウイ	キーファイ	キーフイ	空我と識我の間であって努力する自我。	
		キーファオ	キーフオ	空我と識我の間であって努力した自我。	
	キウア	キーファア	キーフア	空我と識我の間であって甚大に努力する自我。	
キーファエ		キーフエ	空我と識我の間であって甚大に努力した自我。		
識	キウ	キウファ	キウファ	自らの身体が他者・他物体とは異なる特定の自我を有することを知った自我。	

我	キウン	キファウ	キフ	自らの身体が他者・他物体とは異なる特定の自我を有することを知ったにとどまる自我。	
	キウイ	キファイ	キフィ	自らの身体が他者・他物体とは異なる特定の自我を有することを知って努力する自我。	
		キファオ	キフォ	自らの身体が他者・他物体とは異なる特定の自我を有することを知って努力した自我。	
	キウア	キファア	キファ	自らの身体が他者・他物体とは異なる特定の自我を有することを知って甚大に努力する自我。	
		キファエ	キフェ	自らの身体が他者・他物体とは異なる特定の自我を有することを知って甚大に努力した自我。	
識 具 間 我	キウン	キウファテ	キウファテ	識我と具我の間にある自我。	ここまで、自由 終止・係り結び の許容
	キウンヌン	キファテウ	キファトウ	識我と具我の間にとどまる自我。	
	キウンニイ	キファテイ	キファティ	識我と具我の間にあつて努力する自我。	
		キファテオ	キファト	識我と具我の間にあつて努力した自我。	
	キウンナア	キファテア	キファタ	識我と具我の間にあつて甚大に努力する自我。	
キファテエ		キファテ	識我と具我の間にあつて甚大に努力した自我。		
具 我	キウンデ	キウンテ	キウムテ	人為的手段・道具をもって物理的に離れた他者・他物体・自然を改変せんとする自我。	活主間我まで 法性は主に格 詞・助詞・助動 詞・言に内包
	キウンデン	キンテウ	キムトウ	人為的手段・道具をもって物理的に離れた他者・他物体・自然を改変せんとするにとどまる自我。	
	キウンデイ	キンテイ	キムティ	人為的手段・道具をもって物理的に離れた他者・他物体・自然を改変せんと努力する自我。	
		キンテオ	キムト	人為的手段・道具をもって物理的に離れた他者・他物体・自然を改変せんと努力した自我。	
	キウンデア	キンテア	キムタ	人為的手段・道具をもって物理的に離れた他者・他物体・自然を改変せんと甚大に努力する自我。	
キンテエ		キムテ	人為的手段・道具をもって物理的に離れた他者・他物体・自然を改変せんと甚大に努力した自我。		
具 及 間 我	キウーデ	キウーテ	キウーテ	具我と及我の間にある自我。	
	キウーデン	キーテウ	キートウ	具我と及我の間にとどまる自我。	
	キウーデイ	キーテイ	キーティ	具我と及我の間にあつて努力する自我。	
		キーテオ	キート	具我と及我の間にあつて努力した自我。	
	キウーデア	キーテア	キータ	具我と及我の間にあつて甚大に努力する自我。	
キーテエ		キータ	具我と及我の間にあつて甚大に努力した自我。		
及 我	キウデ	キウテ	キウテ	人為的手段・道具をもって物理的に接触している他者・他物体・自然を改変せんとする自我。	
	キウデン	キテウ	キトウ	人為的手段・道具をもって物理的に接触している他者・他物体・自然を改変せんとするにとどまる自我。	
	キウデイ	キテイ	キティ	人為的手段・道具をもって物理的に接触している他者・他物体・自然を改変せんと努力する自我。	
		キテオ	キト	人為的手段・道具をもって物理的に接触している他者・他物体・自然を改変せんと努力した自我。	
	キウデア	キテア	キタ	人為的手段・道具をもって物理的に接触している他者・他物体・自然を改変せんと甚大に努力する自我。	
キテエ		キテ	人為的手段・道具をもって物理的に接触している他者・他物体・自然を改変せんと甚大に努力した自我。		
及 希 間 我	キウデノ	キウテノ	キウテノ	及我と希我の間にある自我。	ここまで、「レル (ラレル)」の未 分離を許容
	キウデノン	キテノウ	キテヌ	及我と希我の間にとどまる自我。	

	キウデノイ	キテノイ	キテニ	及我と希我の間であって努力する自我。	
		キテノオ	キテノ	及我と希我の間であって努力した自我。	
	キウデノア	キテノア	キテナ	及我と希我の間であって甚大に努力する自我。	
		キテノエ	キテネ	及我と希我の間であって甚大に努力した自我。	
希我	キウンノ	キウンノ	キウムノ	実現の可能性にかかわらず、他者・他物体を欲求・希望・愛好する自我。	
	キウンノン	キンノウ	キムヌ	実現の可能性にかかわらず、他者・他物体を欲求・希望・愛好するにとどまる自我。	
	キウンノイ	キンノイ	キムニ	実現の可能性にかかわらず、他者・他物体を欲求・希望・愛好することに努力する自我。	
		キンノオ	キムノ	実現の可能性にかかわらず、他者・他物体を欲求・希望・愛好することに努力した自我。	
	キウンノア	キンノア	キムナ	実現の可能性にかかわらず、他者・他物体を欲求・希望・愛好することに甚大に努力する自我。	
		キンノエ	キムネ	実現の可能性にかかわらず、他者・他物体を欲求・希望・愛好することに甚大に努力した自我。	
希能間我	キウーノ	キウーノ	キウーノ	希我と能我の間にある自我。	ここまで、「セル(サセル)」の未分離を許容
	キウーノン	キーノウ	キーヌ	希我と能我の間にとどまる自我。	
	キウーノイ	キーノイ	キーニ	希我と能我の間であって努力する自我。	
		キーノオ	キーノ	希我と能我の間であって努力した自我。	
	キウーノア	キーノア	キーナ	希我と能我の間であって甚大に努力する自我。	
		キーノエ	キーネ	希我と能我の間であって甚大に努力した自我。	
能我	キウノ	キウノ	キウノ	実現の可能性の高さを知って、他者・他物体を欲求・希望・愛好する自我。	ここまで、「コザ・イエザ・ラザ・ドウザ」を許容
	キウノン	キノウ	キヌ	実現の可能性の高さを知って、他者・他物体を欲求・希望・愛好するにとどまる自我。	
	キウノイ	キノイ	キニ	実現の可能性の高さを知って、他者・他物体を欲求・希望・愛好することに努力する自我。	
		キノオ	キノ	実現の可能性の高さを知って、他者・他物体を欲求・希望・愛好することに努力した自我。	
	キウノア	キノア	キナ	実現の可能性の高さを知って、他者・他物体を欲求・希望・愛好することに甚大に努力する自我。	
		キノエ	キネ	実現の可能性の高さを知って、他者・他物体を欲求・希望・愛好することに甚大に努力した自我。	
能意間我	キウノガ	キウノカ	キウノカ	能我と意我の間にある自我。	ここまで、完了は「タン」・断定・丁寧は「ティル・フィス・フィリス」を許容
	キウノガン	キノカウ	キノク	能我と意我の間にとどまる自我。	
	キウノガイ	キノカイ	キノキ	能我と意我の間であって努力する自我。	
		キノカオ	キノコ	能我と意我の間であって努力した自我。	
	キウノガア	キノカア	キノカ	能我と意我の間であって甚大に努力する自我。	
		キノカエ	キノケ	能我と意我の間であって甚大に努力した自我。	
意我	キウंगा	キウんカ	キウムカ	実現不可能であったことを、様々な手段を講じて意志的・随意的に実現できる自我。	
	キウんガン	キンカウ	キムク	実現不可能であったことを、様々な手段を講じて意志的・随意的に実現できることを知るにとどまる自我。	

意 活 間 我	キウンガイ	キンカイ	キムキ	実現不可能であったことを、様々な手段を講じて意志的・随意的に実現することに努力する自我。	
		キンカオ	キムコ	実現不可能であったことを、様々な手段を講じて意志的・随意的に実現することに努力した自我。	
	キウンガア	キンカア	キムカ	実現不可能であったことを、様々な手段を講じて意志的・随意的に実現することに甚大に努力する自我。	
		キンカエ	キムケ	実現不可能であったことを、様々な手段を講じて意志的・随意的に実現することに甚大に努力した自我。	
	キウーガ	キウーカ	キウーカ	意我と活我の間にある自我。	ここまで、過去・現在・未来の未分離を許容
	キウーガン	キーカウ	キーク	意我と活我の間にとどまる自我。	
	キウーガイ	キーカイ	キーキ	意我と活我の間であって努力する自我。	
		キーカオ	キーコ	意我と活我の間であって努力した自我。	
キウーガア	キーカア	キーカ	意我と活我の間であって甚大に努力する自我。		
	キーカエ	キーケ	意我と活我の間であって甚大に努力した自我。		
活 我	キウガ	キウカ	キウカ	自らの身体に起こる不随意的行為を他の自然現象と区別する自我。	ここまで、能動・受動の未分離を許容
	キウガン	キカウ	キク	自らの身体に起こる不随意的行為を他の自然現象と区別するにとどまる自我。	
	キウガイ	キカイ	キキ	自らの身体に起こる不随意的行為を他の自然現象と区別することに努力する自我。	
		キカオ	キコ	自らの身体に起こる不随意的行為を他の自然現象と区別することに努力した自我。	
	キウガア	キカア	キカ	自らの身体に起こる不随意的行為を他の自然現象と区別することに甚大に努力する自我。	
		キカエ	キケ	自らの身体に起こる不随意的行為を他の自然現象と区別することに甚大に努力した自我。	
活 主 間 我	キウガ	キウガ	キウガ	活我と主我の間にある自我。	ここまで、解離性障害などで中我態を許容。
	キウガン	キガウ	キグ	活我と主我の間にとどまる自我。	
	キウガイ	キガイ	キギ	活我と主我の間であって努力する自我。	
		キガオ	キゴ	活我と主我の間であって努力した自我。	
	キウガア	キガア	キガ	活我と主我の間であって甚大に努力する自我。	
		キガエ	キゲ	活我と主我の間であって甚大に努力した自我。	
主 我	ワタシガ	ワタシガ	ワタシガ	ラテン語の「ego」、英語の「I」、仏語の「je」などで表される対他我的に独立した近代西洋的自我。	
				岩崎純一 Copyright (C) http://www.iwasaki-j.sakura.ne.jp/	